



8 / 6・7

第70回旭市七夕市民まつり

きらびやかな飾りやパレードが観客を魅了

今年で70回の節目となった、旭の夏の風物詩「旭市七夕市民まつり」が中央商店街を中心に開催され、2日間で約9万8千人が来場しました。

通りには色鮮やかな七夕飾りが施され、訪れた人の目を楽しませました。夕暮れから夜にかけては、ミスあさひのパレードや、威勢の良いかけ声とともに神輿やお囃子のパレードなどが披露され、大勢の見物人が見守る中、会場は熱気に包まれていました。



- ①七夕飾りで彩られた商店街
- ②祭りの華である2024ミスあさひ
- ③纏を巧みに扱う(瀬道区)
- ④旭駅前でお囃子を披露(新田区)



スイカを狙って輪を投げる

7 / 20

サマーフェスタ in 矢指ヶ浦2024

笑顔はじける真夏のフェスティバル

梅雨が明け、矢指ヶ浦海水浴場で夏の訪れを告げるイベントが開催。照りつける太陽の下、地引き網やメロン・スイカ輪投げ、宝探しが行われ、たくさんの人でにぎわいました。

地引き網では、みんなで力を合わせて網を引き、いろいろな種類の魚をゲット。子どもたちは、取った魚を笑顔で手にしていました。

メロン・スイカ輪投げでは、狙いを定めて輪を投げ、目当てのメロンやスイカを持ち帰りました。



旭市公式LINE



旭市公式フェイスブック



旭市公式Instagram



旭市公式YouTubeチャンネル



7/27 太田八坂神社のエンヤーホー（つく舞） 繁栄への祈りを込めて

五穀豊穡^{ほうじょう}、悪霊退散、子孫繁栄を願い、県指定無形民俗文化財の「太田のエンヤーホー」が、太田八坂神社で奉納されました。

赤獅子やかまきり、鹿、鶴などの面をつけた演者が、境内に組まれた舞台の上段へ順に上がり無言劇を演じ、舞台の下段に陣取った子どもたちが「エンヤーホー」のかけ声を繰り返しました。

フィナーレでは登り獅子が、つく柱により登り妙技を披露し、安産のお守りになるという紙吹雪を散らしました。



つく柱で妙技を披露する登り獅子

7/5 台湾から 日本の防災教育を視察



職員の話に傾聴する視察団

台北市政府教育局防災視察団が旭市を訪れ、飯岡小での防災教室の授業や防災資料館を見学しました。資料館では、避難所となった学校での様子や教員の行動など震災当時の説明が行われ、視察団は熱心に聞き入っていました。

7/7 海を守り未来に残そう みんなの手で海岸をきれいに



ごみを拾う参加者

沿岸部の地区で海岸清掃が行われ、地区住民や建設業災害対策協力会など、約1,000人が参加しました。海水浴シーズンを前に、地元の海をきれいにしようと、たくさんの人の協力で、4tを超えるごみが回収されました。

7/12 連携を深めて 行方不明者を早期発見

旭警察署、旭市消防本部、旭市消防団が「行方不明者捜索に関する覚書」を締結しました。年々増加する認知症高齢者などの行方不明者を早期に発見することを目的に、情報共有と相互連携を図り捜索活動に当たります。



覚書の締結式

7/14 旭市少年少女サッカー交流大会 第28回あさひカップ

青少年の交友を広げるとともに、サッカーの普及を目的とした大会がスポーツの森公園で開催され、市内や近隣市から12チームが参加しました。子どもたちは声援を背に、ピッチで必死にボールを追いかけていました。



ピッチ上で熱戦が展開

7/16 旭の米で育てた畜産物を 学校給食で提供



地産地消と食育を推進

学校給食を通して飼料用米の取り組みを知ってもらい、地域農業への関心を高めてもらおうと、市と旭市飼料用米利用者協議会が協定を締結。旭市産の飼料用米を給餌した豚の肉などを使ったメニューが、この秋登場します。

7/29 小・中学生がより良いまちを考える 20人の子ども議員が登壇



質問する子ども議員

子どもたちが議会の体験を通してまちづくりへの関心を高めるとともに、その意見を市政に反映させようと、旭市子ども議会が行われました。議員となった児童・生徒が登壇し、学校再編や道路の整備などの質問をしました。